

# たかひこ通信

たかひこ通信 No.11をお届けいたします。3月町議会は初めての予算審議の議会でした。議会がチェック機能を果たせるよう頑張りました。

部内資料 たかひこ通信 No11  
2012/3/20 〒399-8601 長野県北安曇郡池田町大字池田3089-4 薄井孝彦  
Tel・Fax 0261-62-5093  
mail : peace-ikeda@peach.plala.or.jp  
http://web-ariakesan.com/

## 平成24年度池田町 一般会計予算案を 総務福祉委員会 で否決。但し、付帯決 議を付け原案可決！

町議会3月定例会は3月9日から21日まで開催され、17件の議案が審議されました。

最重要議案である「平成24年度一般会計予算案」は総務福祉委員会で賛成少数で否決となりました。その後、議員協議会で対応を協議し、原案に付帯決議（予算執行上の留意点）を付け、可決することにしました。

これらの経過の概要は次のとおりです。

私の所属する総務福祉委員会に総務課関係の予算審議が付託されました。そのなかに防災の緊急時離着陸場（防災ヘリポート）に係わる工事予算（3千414万円）がありました。

この案件について新入議員に事前の説明がなかったこともあり、質問や意見があいつぎました。町のヘリポ

トについての説明は次のとおりです。  
○ヘリポートは花見の防災倉庫の北に隣接する水田に造成する。  
用地は全面舗装し、離着陸用のHマークを付ける。道路沿いにはフェンスを設置する。  
○ヘリの安全な着陸を確保するため、道路沿いの電線を1千万円の予算で地中に埋める。  
○災害時には避難場、生活用品の配給場として使う。  
○予算は起債（借金）75%、町費25%でまかなう。

町の説明を受け、委員会では次のような意見が出されました。  
○敷地面積がヘリポートには狭い。消防訓練にも狭い。  
○ヘリポートへ接続する道路幅が狭い。  
○現計画では防災目的以外に町民が多目的に使うことができない。  
○計画について予算提案前の検討が必要ではなかったか。  
○電線地中化の予算は高い。（町回答⇒減額の可能性もある）  
○必要最小限の予算で実施すべきである。



防災ヘリポート造成地（面積：約3,380㎡）  
防災ヘリは西側から進入するため真中の電柱1本が邪魔になり撤去し、電線は地中化する。

## 私の行動日誌・予定

- ・2月27日 共産党池田支部と町との予算要望交渉
- ・3月2日 全員協議会
- ・3月7日 社協評議員会
- ・3月9日 3月町議会本会議
- ・3月13日 総務福祉委員会
- ・3月15・16日 一般質問
- ・3月16日 高瀬中学校卒業式
- ・3月17日 池田小学校卒業式
- ・3月21日 本会議
- ・3月22日 町政研究会
- ・3月23日 高瀬ダム講演会実行委員会
- ・3月24日 小規模多機能施設見学
- ・3月25日 藤野・北村講演会
- ・3月26日 議会改革特別委員会
- ・3月26日 保育園入園式
- ・3月27日 福祉計画検討委員会
- ・3月28日 議会報編集委員会

## ヘリポート予算に関する付帯決議

私はヘリポート予算に不備な点があると考え、予算案の採決で、他の新入議員と同様に原案に賛成しませんでした。原案は賛成少数で否決となりました。  
しかし、予算案を否決することは町民に役立つ予算すべてをも否決することになり、問題があります。そこで、全議員で対応を検討し、ヘリポート工事予算に次の付帯決議を付けることになりました。

- ①ヘリポートを生かしながら多目的な使用も考えてほしい。また、施設の有効活用のため時間をかけて論議検討すること。
  - ②ヘリポートの建設にあたっては、経費の節減を図りながら、必要最小限の工事費とすること。
- 付帯決議は6人の議員賛成者の署名を添え、私が提出者として議長に提出し、本会議で可決されました。予算案に付帯決議をつけることは議会のチェック機能の面で必要なことです。今回の経過を点検し、議会の充実に努めて参りたいと思います。